

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

帯広市立愛国小学校

本年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(5年生)」の結果から、本校の児童の傾向についてお知らせします。

	体力テスト種目	体力要素
①	握力	筋力
②	上体起こし	筋持久力
③	長座体前屈	柔軟性
④	反復横とび	敏捷性
⑤	20m シャトルラン	持久力
⑥	50m 走	走力
⑦	立ち幅とび	瞬発力
⑧	ソフトボール投げ	巧緻性・投力

〈実技に関する調査〉

- 体力合計点は男女共に全国平均を下回る結果となりました。
- 反復横跳びおよびソフトボール投げは、女子が全国平均を上回る結果となり、敏捷性や投力で高い成果が見られました。日常的な運動習慣や体育での継続的な取組の成果が表れていると考えられます。
- 20m シャトルランおよび50m 走は男女ともに全国平均を下回る結果となり、持久力と走力の面で課題が見られました。今後は、持久力向上や走力強化に向けた継続的な取組が必要です。

〈児童質問紙〉

- ほぼ全員が「運動が好き」「運動やスポーツをすることに興味がある」「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」と回答しました。体を動かすことに対し興味をもち、運動することへの意欲が高いことがわかりました。
- 1週間の総運動時間（体育の授業以外の運動やスポーツの時間）は、平日は少年団活動や習い事によって運動する時間が長い日もあるのに対し、土日は全国平均より短い傾向があります。
- ほぼ全員が朝食を毎日食べると回答し、10時間程度の睡眠時間が確保されています。規則正しく、良い生活習慣が身につけていることがうかがえます。
- 平日（月～金）のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンの使用状況は全国平均時間より使用時間が長い傾向があります。
- 「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」が、全員が「いつも進んで学習している、だいたい進んで学習している」と回答しています。

〈今後に向けて〉

- 今年度も、「運動が好きな児童が多い」結果となりました。授業時間以外にも、日常的に運動に親しむ取組の一環として、体育館に一輪車や卓球台を常設しています。休み時間には、ほとんどの児童が一輪車、卓球、バスケットボール、ミニバレー、サッカー等を楽しむ姿が見られます。また、年間を通して持久力を高めるために、走った周数で距離を割り出して進んでいくマラソンの取組も行いました。今後も、日常的な運動量の確保を進めるとともに、楽しく体を動かしながら、運動能力向上に向けた取組をすすめてまいります。

※本校の結果については、調査対象の学年の児童が少ないため、平均値やレーダーチャート等の表示はしておりません。他学年の体力テストの結果等もふまえ、全校に関わる傾向を分析し、継続・改善の取組を進めてまいります。